

議会だより



藤岡市観光フォトコンテスト入賞作品
作品名「拝啓。90歳の私と52年の苺」加藤 馨氏（藤岡市在住）

定例会は、9月1日から9月17日までの17日間の会期で開催されました。

教育委員会委員の任命についてなど27議案が提出されました。

◆1日＝本会議 会期の決定。

◆9・10日＝本会議 一般質問。
◆14・15日＝決算特別委員会。
◆17日＝本会議 委員会付託議案
11件を可決。
追加議案1件を即決。

9月定例会の
あらまし

議案等審議結果<9月定例会>

番号	件名	結果
市長提出議案		
報告11号	健全化判断比率の報告について	報告
報告12号	資金不足比率の報告について	報告
報告13号	専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）	報告
質問1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて	異議なし（全員）
質問2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて	異議なし（全員）
第54号	教育委員会委員の任命について	同意（全員）
第55号	藤岡市税条例の一部改正について	可決（全員）
第56号	多野藤岡広域市町村圏振興整備組合の規約変更に関する協議について	可決（全員）
第57号	財産の取得について	可決（全員）
第58号	市道路線の廃止について	可決（全員）
第59号	市道路線の認定について	可決（全員）
第60号	令和3年度藤岡市一般会計補正予算（第4号）	可決（全員）
第61号	令和3年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第62号	令和3年度藤岡市学校給食センター事業特別会計補正予算（第1号）	可決（多数）
第63号	令和3年度藤岡市水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全員）
第64号	令和2年度藤岡市一般会計歳入歳出決算認定について	認定（多数）
第65号	令和2年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定（多数）
第66号	令和2年度藤岡市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員）
第67号	令和2年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員）
第68号	令和2年度藤岡市介護老人保健施設特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員）
第69号	令和2年度藤岡市学校給食センター事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（多数）
第70号	令和2年度藤岡市特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員）
第71号	令和2年度藤岡市三波川財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定（全員）
第72号	令和2年度藤岡市水道事業会計利益処分及び決算認定について	可決及び認定（全員）
第73号	令和2年度藤岡市下水道事業会計利益処分及び決算認定について	可決及び認定（全員）
第74号	令和2年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計決算認定について	認定（全員）
第75号	令和3年度藤岡市一般会計補正予算（第5号）	可決（全員）

本市の教育について

吉田
達哉

問 教職員の働き方改革について伺います。

答 働き方改革は教職員が子供たちと向き合う時間とを確保するためであり、会議等の精選によって生み出された時間は、より良い授業をするための教材研究や授業準備の時間に充てられます。また適正な勤務時間管理により心身の健康を保ち、生き生きと子供たちと向き合う様子が見られていることから、この改革は教職員だけでなく、子供たちにとっても良い影響を与えていきます。

問 教職員の働き方改革によって削減された教育内容と、削減されたことにより、子供たちへ与える影響について伺います

問 宿泊を伴う特別活動や体験学習等が減るなが
学習以外の生きる力や不
易な部分等、豊かな感性
や人間力を養う機会が失
われているように思いました。
ですが、本市の考え方を伺い
ます。

答 全ての教育活動を通じて道徳教育を行つてお
り、子供たちは他者の考
えや意見に触れながら自
己を見つめ、自らの生き
方にについて考えを深めて
います。

問 校務に追われたり
学力向上に意識をとらわ
れ過ぎたりして、子供た
ちの人格形成等を行う意
識が薄れるとはないが
伺います。

問 教育の目的と目標について伺います。

直しを行い、その中で豊かな感性や人間力を養つていけるよう検討を進めています。

市民への行政サービスについて

窪田
行隆

問 行政サービスは、住民が自ら申請することが前提の申請主義で、制度の対象者でも情報を知らないと申請できません。それに対して、行政が住民に情報を積極的に知らせ、対象者が漏れなく利用できるようにするのがertzシユ型行政サービスです。行政のデジタル化に合わせ、ertzシユ型行政サービスを導入するべきですが、考

問 心の健康を崩して休職する職員が増えていました。メンタル不調が原因の病気休暇と病気休職の状況について伺います。

メンタルヘルス対策 について



答 業務の合理化・効率化を進めることは重要で、特にデジタル化の導入は職員の負担軽減につながります。国がまとめた対策をもとに、職場環境の改善と業務内容に応じた対策を検討したいと考えます。

業務が原因での罹患は防ぐべきであり、本人のケアと職場環境の改善が必要です。業務の合理化・効率化を進め、民間に比べて遅れているICT化による負担軽減が必要です。

答 メンタル不調のため
病気休暇または病気休職
となつた職員数は、令和
2年度は病気休暇が9人
病気休職が1人、計10人
です。

コロナ禍における
市政について

中澤 秀平

生活困窮者自立支援
金事業の概要と申請の状況について伺います。

ら8月末時点での申請者数は18名です。

生活困窮者自立支援金事業は、新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴い、生活福祉資金貸付制度の緊急小口資金、総合支援資金の特例貸付について、貸付限度額に達した等の理由により貸付けが利用できず、就労支援金を給付するものであります。特例貸付制度の基準額以下の収入や資産しか所持していない状況にあり、かつ、ハローワークに求職の申し込みを行つてある方へも、常勤就職活動を行つています。

答 周知については、市ホームページや特例貸付窓口で案内をしています。また、特例貸付制度額まで借りた方は、自己相談支援機関の支援を受けることになるため、生活資金の相談等の窓口について制度の周知を図っています。

答 他市では、本事業を件に当ててはまるかどうか、セルフチェックをするフローチャートやエクセルファイルを掲載している方には、郵送で申請書を送るなどとの対応を取れます。本市での今後の対応について伺います。

答 本市では、ワクチン接種の強制はしないこと、接種の有無で差別や偏見を強制するような言動は行わないことを基本方針としています。接種を行わない人を強制するのではなく、接種の強制はしないことを理解してもらっていることを尊重することを各学校へ指導を徹底しています。



答 周知については、市ホームページや特例貸付窓口で案内をしています。また、特例貸付制度額まで借りた方は、自己相談支援機関の支援を受けることになるため、生活資金の相談等の窓口について制度の周知を図っています。

子どもたちの新型コロナワクチン接種について

小西 貴子



ら、市民に寄り添つた相談を受けていきたいと思つています。

答 他市の学校では、生からのワクチンハラスメントがあつた等々聞いています。本市教育委員会では学校に對して、どのように指示・指導方針を出しているのか伺います。

答 免疫力を高めることは重要と考えます。行政の責任として、政府の情報を発出しながら、毎日心の中で収束を感じてきます。全ての市民の協力を仰ぎながら、平穏な生活が送れるよう市政をしつかりとつくつていきたく思つています。

問 自然免疫力のほう強く、長く変異株を阻りますが、奈良時代にはあ止が神を重んじる心を持つたと云うと、事実があります。この自然のうと、免疫力を十分に高めるような指導をしていただきたいと思います。

中心市街地の活性化について

隅田川 徳一

問 旧公立藤岡総合病院跡地複合施設には、文化振興の面から、展示会、美術展が開催できるよう常設が足を運べるようなスペースが是非とも必要だと考えます。また、複合施設が完成した後に廃止されることの方向とこのことであります。

答 複合施設に設置する在の市民ホールは、複合施設が完成した後に廃止されることの方向とこのことであります。

答 複合施設に設置する多目的ホールは、藤岡市文化協会からも要望書をいただいておりますが、市民団体等の発表会や講演会、展覧会等に対応できるギヤラリー機能を備え、様々な活動に対しうける施設を整備していくことを目的に活用することのできる複合施設整備後は解体し、複合施設整備後は解体します。

答 現在、市役所を元の位置に戻すのです。歴史を戻すのではありません。市街地だけでなく、本市全体の発展を未来志向で市心に移すことになります。

答 現在は、GIGAスクールの現状について伺います。

答 避難場所となる小・中学校には、災害電話の整備や毛布・食糧・飲料水などの物資を分散備蓄しています。また、各公民館には太陽光発電や蓄電池の整備を進めています。

答 防災に係る遊具や備などに見て触れていた意識の高揚を図ります。また、地域と連携し、防災テントやかまどベンチなどを用いた訓練や、隣接している学校給食センターなどと連携した訓練などを積み重ねることなどで、地域防災力の強化が考えています。

問 今後は、中央公園と市民ホール跡地の一体利用も考えられるようになります。提案ですが、この地に市役所を移転されることはいかがでしょうか。

答 ことにより、しつかりその議論ができる環境を作っていきます。

答 まさに山積する課題の中で、複合施設の建設、偕同苑の改修事業など、様々な案件があり、そのことにまだ注力を置いています。

本市のデジタル化について

野口 靖



問 デジタル化に向けての本市の取組について伺います。



答 防災対策に重要な避難所をどのように整備したのか伺います。

答 防災に係る遊具や備などに見て触れていた意識の高揚を図ります。また、地域と連携し、防災テントやかまどベンチなどを用いた訓練や、隣接している学校給食センターなどと連携した訓練などを積み重ねることなどで、地域防災力の強化が考えています。

問 リージャイナ市の生徒と端末を利用しての交流ができるないか伺います。

答 「藤岡市土砂等による土地の埋立て等事業指導要綱」に基づく事業事前相談の届出が提出されたもののうち、斜面に盛られた土砂、全13か所について、亀裂の有無、表層土砂の崩れ等は確認されていません。

問 本市における盛土箇所は、適切に管理されているのか伺います。

答 中学校には、災害電話の整備や毛布・食糧・飲料水などの物資を分散備蓄しています。また、各公民館には太陽光発電や蓄電池の整備を進めています。

災害対策について

内田 裕美子

■ 本市の防災会議の委員の女性の割合を3割以上に増やし、藤岡市地域防災計画の内容に、女性の視点も反映させるべきだと思いますが、考え方を伺います。

答 本市の防災会議の委員については、安全安心に係る機関の代表者など計47名で構成しており、そのうち女性委員は2名で、全体会の約4・3%です。女性の視点が必要な事項について、藤岡市地域防災計画の修正案をつくる段階で、女性職員を3割以上登用したワーキンググループを設置し、そこで得た意見を反映することで、本市の防災力を強化していくと考えています。

と契約をして常駐させるべきと思いますが、考えを伺います。

答 今後、災害対応を行う中で、気象防災アドバイザーの存在は重要と考えますので、まずは先進自治体の事例などを参考に調査・研究を行っていきます。



ヤングケアラー支援について

■ 深刻な状況になる前に、状況の把握が必要と思いますが、本市として調査する考え方があるか伺います。

■ 産業振興市としての現状について伺います。

茂木 光雄

答 産業振興市とは、指定基準に基づき市長が指定を行うことにより、市街化調整区域において、技術先端型業種の工場までの開発行為を可能とするもので、本市は平成25年4月1日に指定を行つてあります。都市計画法に基づく開

の派遣などの支援体制を考えを伺います。

答 今後、国もヤングケアラー問題について支援体制を強化していくとのことですので、積極的に情報収集を行い、対応していきます。



市街化調整区域の開発について

■ 指定され8年が経過しましたが、申請が1件もないことに、本市の市街化調整区域の開発に遅れを感じますが、今後の対応について伺います。

答 本市の発展と市内企

業のさらなる発展のためには、工業団地の造成が必要です。これまで、適地調査や県企業局との調整など行つてきましたが、産業振興市は、その1つのツールだと思っていま

す。将来にとつて何が良いかを考え、取り組んでいかなければなりません。先端企業の誘致をすることが大事だと思います。申請を受け付けたことはありません。

産業振興市は、コストも時間もかかるため、企業が急ぎの場合には工業団地を紹介することになります。先端企業の誘致をすることが大事だと思います。事業展開からすると、事業だと思っています。



■ 工場を拡張したい、路線に立地したいとなれば、事業者にとつてメリットがある方法をアドバイスしています。北部工業団地（第2期）、東平井工業団地（第2期）、そして、今度の西部工業団地（第3期）に出たほうが

林業の振興について

橋本 新一

問 市産材の公共建築物への木材利用について伺います。

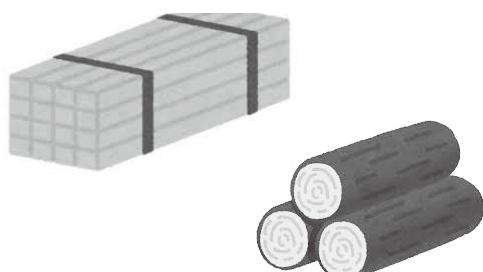
答 市民が木に親しむ環境を構築していく上でも必要なことであると感じています。近年、建設された公共施設など、木材が活用されている他自治体の事例を参考に、市産材を活用でかかる検討を行っています。

問 本市は、平成27年度に市有施設等における木造化による森林の多目的正材機管利用案を実現する方針を策定しています。これらは、本市が平成22年10月に施行する法律に基づいてあります。

答 本市は、平成27年度に市有施設等における木造化による森林の多目的正材機管利用案を実現する方針を策定しています。これらは、本市が平成22年10月に施行する法律に基づいてあります。

思います。「この法律が、使つて、植える」という森林資源の循環利用を進めることが必要不可欠です。

されるものと考えています。



問 本市は、令和2年4月、「第2期藤岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、近い将来にも行われる市庁舎建設に、立木推定蓄積量約16万6千立方メートルの市立木を有効利用することとされています。そこで、近い将来にも、森林を育て、森林の再生を図ることが求められています。

答 人口減少と「藤岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

答 人口減少対策は企画課が担当し、総合戦略に掲げる人口減少対策は企画課が担当し、総合戦略に

経済社会に甚大な悪影響を及ぼすことがあります。これは、日々の生活の利便性の低下や産業全般の利益性の低下を防ぐためにも、木を使いましょう。森林を育て、森林の再生を図ることが求められています。

国は創生長期ビジョンの中で、人口減少は地域問題研究所以あると、本市の人口は令和22年が5万人、令和27年が4万6500人、令和47年が3万2700人です。人口の減少傾向は極めて顕著で、早急な対策が必要なことは論をまちません。

人口減少問題は、その難しさや重要性を考えると、本市でも最重要課題の一つです。データを分析し、本市に居を構えた専門的に扱う部署の設置が必要だと思いますが、考えを伺います。



答 先進自治体の事例も参考にしながら、本市の現状に合った政策を多岐にわたり実施することが大切と考えています。

職員の人事管理

湯井 廣志

答 交通事故は停職1件で、戒告1件、訓告5件、厳重注意17件です。不適正な業務執行は33件で、処分の内訳は減給1件、訓告10件、厳重注意22件です。指揮監督責任は55件で、処分の内訳は訓告2件、厳重注意53件です。その他の処分は19件です。

本市は、議会が開かれることごとに、職員による交通事故の専決処分が上程されます。また、今年は税務課職員の書類紛失や介護高齢課職員のデタ送付ミスなどの不祥事が続いていますが、過去20年間で、どのような不幸な事態が発生し、どのような处分が行われたのか伺います。

答
昇格は、管理職に必要な職員管理、人材育成などの能力が備わっているかで判断します。人事異動は、適材適所で人員配置をしています。

答 先進的な取組を行っている自治体を参考に、研究していくたいと考えます。

職員・管理職が自ら肃と、処分に公平を欠くことのないよう、今後、懲戒処分の基準に関する要綱により、細かい内規を制定し、全職員に周知すべきと思いますが、考えを伺います。

この議会だよりに掲載してある一般質問は、要約してあります。詳しく述べ、藤岡市議会のホームページや市役所相談室、図書館で会議録（11月下旬公開予定）をご覧ください。

- 藤岡市議会ホームページ▶<http://fujioka.gijiroku.com/>

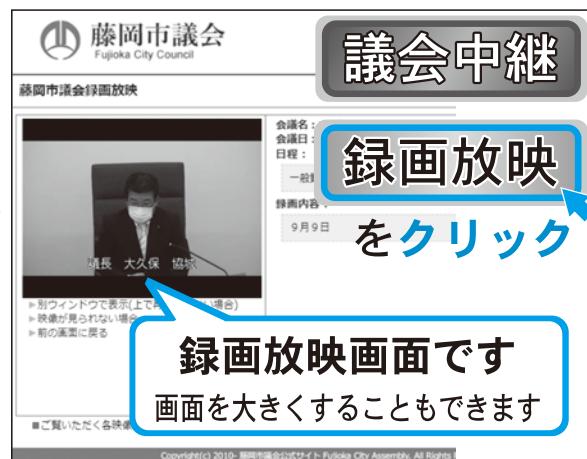


答 自ら管理職への意欲を形にする立候補は、有効な方法と考えます。意欲ある職員を管理職に登用していく制度について、調査研究していきます。

議会中継をご覧ください

藤岡市議会では、市民に開かれた議会を目指し、インターネットによる録画配信を行っています。

藤岡市議会のホームページから、議会中継ることができます。現在、インターネットで配信されている映像は、今号掲載分までの一般質問の様子です。ぜひ、ご覧ください。



市議会を傍聴しませんか？

議会は、3・6・9・12月の定例会と隨時に開催する臨時会があります。

◎本会議の傍聴

本会議は、一般の方に公開されており、いつでも傍聴することができます。事前の予約は必要ありません。

傍聴を希望する本会議の当日に、傍聴人受付（市役所2階議会事務局前）で、受付簿に住所、氏名、健康チェック表等の記入をして、検温・手指消毒をしてから入場します。マスクの着用もお願いします。（※感染予防及び拡大防止のため、人数制限をしています。）

傍聴される方に議案集の貸し出しも行っています。

◎委員会の傍聴

委員会も本会議と同様の手続きで傍聴することができます。

傍聴を希望する委員会当日に議会事務局までお越しください。

日程については、市議会事務局にお問い合わせください。

また、藤岡市ホームページの「藤岡市議会」→「議会の情報：会議のお知らせ」にも開催予定日を掲載しています。

■ 12月定例会（予定）

※議事の都合により変更となる場合があります。

月 日	時 間	摘要
11月26日（金）	10:00	本会議
11月29日（月）	10:00	本会議
11月30日（火）	10:00	常任委員会
12月 2日（木）	10:00	常任委員会
12月 7日（火）	10:00	一般質問
12月 8日（水）	10:00	一般質問
12月 10日（金）	10:00	本会議

● 問い合わせ ▶ 市議会事務局 ☎ 40-2377 ●



…市民の皆さんのご意見をお待ちしています…



藤岡市議会では、市民の皆さんのが議会をより身近に感じられる議会だよりを目指し、日々取り組んでおります。

今後、さらに市民の皆さんとの声を紙面づくりに反映していくため、本紙をお読みになったご感想・ご意見等をお寄せください。

○宛 先○ 藤岡市議会事務局 ☎ 375-8601 藤岡市中栗須327番地
TEL 0274(40)2377 FAX 0274(22)5829 Email gikai@city.fujioka.gunma.jp

ふじおかほっとメールから議会の情報を発信します！

議会の日程などに関する情報を配信しています。ぜひご活用いただき、議会の傍聴にお越しください。

■ 登録を始める前に

ご使用になる携帯電話で迷惑メール対策をされている場合は、次の2点についてご確認／設定をお願いいたします。

・「city.fujioka.gunma.jp」ドメインからのメール受信を許可する設定にしてください。

・URL付きメールの受信を許可する設定にしてください。

■ 登録はこちら

・パソコンで登録→<https://service.sugumail.com/fujioka/member/>から

・スマホなどで登録→右QRコードから



経済建設常任委員会所管調査

調査日 ● 令和3年10月7日(木)

ららん藤岡について

年間入込客数・売上額は平成26年度265万人・27億4468万円をピークに減少傾向にあります。令和2年度はコロナ禍の影響もあり168万人・19億9295万円と激減しました。また、農産物直売所の売上は平成26年度6億3880万円から、令和2年度4億8400万円と約25%減少しました。コロナ禍の影響もありますが、生産者の高齢化による生産数量の減少、また高崎玉村スマートIC（賢い料金制度）、上里スマートIC開設の影響が要因の一つと考えられます。今後から乗降可能な整備を進めていくことを期待します。

さらに、ここ2年の観光客数の激減により、収

森林経営管理制度について



ららん藤岡多目的室で概要説明

益の減少、雇用環境の悪化等、観光産業への影響は大きい。これまでの観光、地域のあり方をコロナ禍においても持続可能なものへと転換し、ユニバーサルな旅に対応した新たな施設空間を提供すべきと考えます。

まことに、適切な森林管理が行われていない森林を、市町村が所轄する者に代わり管理する制度です。森林所有者意向調査を、令和元年度に三波川雲尾、琴辻地区を対象に87件、179・03ヘクタールを実施し、うち47件が市に委託意向でした。令和2年度には三波川琴辻、大内平、上日野島、譲原下久保、柏ヶ舞地区などを対象に248件、469・82ヘクタールを実施し、うち122件が市へ委託意向がありました。今年度は高山横手沢、御靈沢、三波川諸松、保美濃山大繩場等を対象に264件、26件が市へ委託意向がありました。今後は高さ木光雄、藤岡へ直接ETCを対象に264件、26件と予定です。この事業に実施するにあたり森林所有者と林業経営者の場として利用可能になります。

平成31年4月に森林經營管理制度がスタートし

委員長	岩崎和則
副委員長	隅田川徳一
委員	青木貴俊
委員	行隆
委員	小西貴子
委員	岩崎和則
委員	青木貴俊
委員	新一
委員	橋本新一
委員	中澤秀平
委員	岩崎和則
委員	青木貴俊
委員	吉田達哉
委員	隅田川徳一
委員	青木貴俊
委員	行隆
委員	岩崎和則
委員	青木貴俊
委員	吉田達哉



市議会第1委員会室で概要説明

議会だより編集委員会									
委員長	窪田行隆	副委員長	橋本新一	委員	岩崎和則	委員	青木貴俊	委員	吉田達哉
員	吉田	員	隅田川	員	青木	員	岩崎	員	吉田
員	達哉	員	徳一	員	貴俊	員	和則	員	達哉
員		員		員		員		員	

秋も深まりました。コロナ禍との闘いも皆様のご協力でワクチン接種が進みましたが、これからも油断せず予防を続けることが大切と思います。

今後は、停滞している林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を目指し、さらなる林業の振興を期待します。

第4回定例会では令和2年度一般会計歳入歳出決算認定をはじめ、各議案の議決を行いました。一般質問では11名の議員により、活発な議論を行いました。

今後とも議会だよりが議会と市民の皆様をつなぐ架け橋となれるよう、努力してまいります。

編集記録